

# 第9回全国和牛能力共進会「鳥取大会」 出品に向けて取り組み始まる！

会期：平成19年10月11日～平成19年10月14日

テーマ：「和牛再発見！ - 地域で築こう和牛の未来 - 」

和牛の能力と斉一性の向上を目指す本共進会が、能力共進会として開催されるようになって、今回で9回目を数えます。和牛に求められる経済能力は時代と共に変遷し、関係者が一丸となってその時代に合った和牛の能力向上を図って参りました。

このような中、今回はすべての出品区の出品条件に産肉能力の育種価を取り入れるとともに、多くの出品区で種牛能力の育種価（分娩間隔の育種価）に係る出品条件が新たに設けられました。

これまで、和牛は産肉能力、特に脂肪交雑に重点を置いて改良が進められてきましたが、その成果が得られるようになった今日、改めて種牛能力をはじめとする和牛の魅力に目を向け、この能力を伸ばしていくことが大切であるという思いが開催テーマに込められています。

そして、各地域がこのテーマへ向かって様々な取り組みをしていただけることによって各地域に特色豊かな牛が生まれ、それぞれの産地の未来を支えてくれるという思いも込められています。

## 第9回全国和牛能力共進会宮崎県出品牛造成に向けて交配種雄牛に選定した種雄牛を紹介します！

宮崎県では枝肉部門に関する3つの出品区において、平成17年1月1日から平成17年1月31日まで交配計画に基づいて以下の交配種雄牛の交配が行われました。

### 出品牛の父

【種雄牛名（父・母方の父・母方の祖父）】

#### 第7区（総合評価群）



糸北国（北国7の8・糸秀・隆美）



福晴美（福茂・賢治・隆美）



福谷桜（上福・隆桜・忠福）

## 第9回全国和牛能力共進会・出品牛造成スケジュール

出品区分	平成16年	平成17年〔2005〕	平成18年〔2006〕	平成19年〔2007〕
第1区(若雄) 生後15～23カ月未満	12月	1月 2/1 種付 9/30 11/12 分娩	12月 1月 7/11 分娩	12月 1月
第2区(若雌の1) 生後14～17カ月未満		8/1 10/31 種付	5/12 8/11 分娩	
第3区(若雌の2) 生後17～20カ月未満		5/4 7/31 種付	2/12 5/11 分娩	
第4区(系統雌牛群) 別記・生後14カ月以上			8/11以前生まれ	出品牛 道府県最終予選会
第5区(繁殖雌牛群) 別記・3産以上				
第6区(高等登録牛群) 別記・生後14カ月以上			孫娘牛は8/11以前生まれ	
第7区(総合評価群) 生後17～24カ月未満		1/1 種付 7/31 10/12 分娩	5/11 分娩 <sup>1)</sup>	5/31 7月～
第8区(若雄後代検定牛群) 生後24カ月未満		1/1 種付 10/12 分娩	2)	
第9区(去勢肥育牛) 生後24カ月未満		1/1 種付 10/12 分娩	3)	

会期：十月十一日～十月十四日  
第9回全共最終審査・鳥取会場

1) 出品牛の父牛は、平成 9年10月1日以降生まれのもの。  
 2) 出品牛の父牛は、平成12年10月1日以降生まれのもの。  
 3) 出品牛の父牛は、平成 7年10月1日以降生まれのもの。

#### 第8区（若雄後代検定牛群）



正福桜（福桜・安平・糸秀）



宮牡丹（安平・糸秀・糸波）



安平桜（安平・隆桜・菊正）

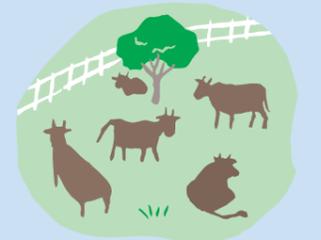
#### 第9区（去勢肥育牛）



福之国（北国7の8・福茂・菊安）



日向国（北国7の8・隆美・菊安）



第7区、第8区の交配種雄牛は第9区の対象でもあります。

このようなテーマで開催される第9回全国和牛能力共進会のねらいは、以下の3つです。

第1のねらいは、肉専用種として求められる産肉能力と生産者が安心して再生産できる種牛能力を兼ね備え、相互のバランスのとれた和牛改良を目指すことにあります。しかも、これらの能力を確実にかつ早く向上させるためには、育種価に基づく選抜をより強力に進めることや若い雄牛を積極的に活用する事が大切です。

第2のねらいは、この10年間に急速に減少してきた遺伝的多様性の維持、そして拡大を

図り、産地の活性化を促すことにあります。そのためには、地域の特色を備えた系統を再構築し、血統と能力両面において特色ある牛づくりを行うこと、また優良雌牛を地域内にしっかり保留していただくことが重要です。

第3のねらいとして、この共進会を通じ、多くの消費者の皆さんに和牛生産や和牛改良への理解を深めていただくことがあります。そのため、消費者と生産者が一体となれるような催しも計画されています。

この3つのねらいに基づいて第9回全国和牛能力共進会では9つの出品区が設定され、

新たに和牛集団の遺伝的多様性の維持拡大を図り、将来の和牛改良に資するため、稀少となりつつある雄系統及び地域の雌系統の特色を生かした系統雌牛群の出品区（第4区）が設けられました。

そして、母系三代にわたる優秀な種牛性が一目でわかるように母牛、娘牛、孫牛をセットで出品する高等登録群出品区（第6区）が再整備されました。

また、第8回全国和牛能力共進会に引き続き、産肉能力と種牛能力を総合的に評価して改良の成果を確認する総合評価群（第7区）が設

けられ、世代交代を早め改良の促進を図るために出品牛の父牛の年齢制限を設け、次世代の種雄牛を作出するため若い種雄牛の産子による若雄後代検定牛群（第8区）が今回も設定されました。

一方、第9区（去勢肥育牛）は、単品区とし、24カ月齢未満という通常よりも短い出荷月齢のなかでの食味の向上と肥育技術の研鑽を目的に、和牛の肉用牛としての可能性を追求する区とされました。

第9回全国和牛能力共進会の主な出品条件

出品区 出品条件	第1区 若雄	第2・3区 若雌	第4区 系統雌牛群	第5区 繁殖雌牛群	第6区 高等登録群	第7区 総合評価群	第8区 若雄後代検定牛群	第9区 去勢肥育牛
生後月齢 生年月日	15～23か月未満 H17.11.12 ～18.7.11	2区 14～17か月未満 H18.5.12～H18.8.11 3区 17～20か月未満 H18.2.12～H18.5.11	14か月以上 H18.8.11以前	3産以上の産歴	14か月以上 孫娘 H18.8.11以前	種牛群 17～24か月未満 H17.10.12～H18.5.11 肉牛群 24か月未満 H17.10.12以降	24か月未満 H17.10.12以降	24か月未満 H17.10.12以降
出品単位	単品	単品	群（4頭）	群（4頭）	母、娘、直系孫娘 群（3頭）	種牛群（4頭） 肉牛群（3頭）	群（3頭）	単品2頭限度 父牛別で可
出品者	改良組合会員 個人 （道府県）	改良組合会員 個人	育種組合を目安 （育種組合、支所） （本会協議）	支所を目安 市郡単位 （本会協議）	改良組合 市町村単位 （本会協議）	種牛群（本会協議） 育種組合 肉牛群 個人、グループ	個人、グループ	個人
（本牛） 産肉能力の 育種価条件	「育種価資格本原」の登記牛、 本原登録牛		「育種価資格本原」の登記牛、本原登録牛（平成14年4月1日以降受審牛）、高等登録牛、その他登録取扱方法に定めるもの			第1区～3区と同様 肉牛群は種牛群に 準ずる		（父牛） 本原登録牛 （平成14年4月1日以降受審牛）
繁殖能力	（母牛） 第4区～6区 の欄と同様	なし	出品牛、出品牛の母牛の繁殖能力は次のいずれかの条件を満たすもの。 高等登録牛 初産月齢が28か月齢以内で分娩間隔の育種価または期待育種価が、県平均以上または分娩間隔が400日以内				なし	なし
種雄牛 年齢制限	なし	なし	なし 証明書添付	なし	なし	（父牛） 平成9年10月1日 以降生まれ	（父牛） 平成12年10月1日 以降生まれ	（父牛） 平成7年10月1日 以降生まれ
授精・妊娠 鑑定証明 （最終審査時 未経産17か月 以上は添付）		証明書添付	「雄系統」始祖牛の遺伝子を保有する確率20%以上 「雌系統」始祖牛は昭和50年以前生まれ、出品牛は共通の始祖牛の母方系統子孫等			種牛群 証明書添付 申込み 最終審査まで 3か月以上飼育 肉牛群 最終審査まで 最長飼養者が 10か月以上飼育	最終審査まで 最長飼養者が10か月以上飼育	
飼育期間等		申込み	最終審査まで3か月以上飼育					

POST CARD

鳥取県の  
ミドコロ

今回和牛能力共進会が開催される鳥取県の観光名所です。この機会に足を運んでみてはいかがでしょうか？

**夢みなとタワー**  
日本海から大山までを360度見渡せる『展望室』や日本海の海の幸を購入できる施設などがあります。

**水木しげる記念館**  
漫画家・水木しげる氏のプロフィールや、妖怪の世界についてなど、映像をまじえて多数紹介しています。

**米子水鳥公園**  
毎年約1000羽のコハクチョウが訪れる、国内でも有数の野鳥の生息地です。

**とっとり花回廊**  
日本最大級のフラワーパーク。屋根付きのドームなので天候を気にせず四季折々の花が一年中楽しめます。

